

高野町 広報

ホームページ <http://www.town.koya.wakayama.jp/>

主な内容

- P2～ 平成25年度当初予算の主な施策
- P4～ 平成25年度予算
- P6～ 住環境整備（リフォーム）補助金
定住促進補助金制度
- P8～ まちの話題（1月～3月）
- P10 「あきた鹿角国体2013」出場報告
高野町奨学生募集
「ポラリス」巡回相談

役場の電話番号は56-3000、富貴支所の電話番号は53-2301です。

平成25年度当初予算が決まりました！

平成25年度当初予算が3月議会で承認されました。リフォーム補助金などの新しい補助事業や、給食費無料化・可燃ごみ袋の一部無料配布などの暮らしに直結する無料化事業も始まります。



「仲良く給食を食べる高野山こども園の子どもたち」

平成25年度当初予算の主な施策

平成25年度の当初予算では
 ・住民生活に直結する事業
 ・移住・定住の促進

・高野山開創一二〇〇年及び和歌山国体に向けた環境の整備
 として新規提案事業を中心に重点施策をまとめました。

1. 住民生活に直結する事業では家庭の負担を軽減する無料化など身近な施策を第一とし、一方で地域を支える主体的な活動も支援することで、住んでよかったと実感していただける町を目指しています。

2. 移住・定住促進施策では、住まいに関する補助事業を中心に、町内の住宅環境を向上することで定住人口の増加を図っていきます。

3. 環境整備施策としては、高野山開創一二〇〇年と和歌山国体という大きな節目を2年後に控え、多くの方々に訪れていただけるような魅力あふれる地域となるよう、おもてなしの心を基本とした基盤整備を推進していきます。

この3つの重点施策を中心とした諸事業を円滑に実施し

ていくため、一般会計においては、前年度と比較して2億300万円増額となる総額34億7100万円の積極型予算を編成しました。重点施策として位置づけた各事業の概要は以下のとおりとなります。

(詳細については本誌6ページ以降で掲載しているほか、順次広報お知らせ版及びホームページ等でお知らせします)

重点施策

1 住民生活に直結する事業

■住民生活を支援する無料化事業

・給食費無料化

子育て世代の負担を軽減するため、町内の保育所から中学校までの園児、児童、生徒の給食費を平成25年度よりすべて無料とします。

(担当 教育委員会)

・可燃ごみ袋の一部無料配布
 一般家庭の負担を軽減し、住みやすい地域づくりを目指

すため、住民1人当たり1冊(10枚)の可燃ごみ袋を無料で配布します。

(担当 生活環境課)

■地域に対する補助事業

・地域振興活動補助

(予算額200万円)

町内自治会や町民で構成される任意団体が、環境・子育て・防犯・防災などの地域の身近な課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けて、主体的かつ継続的に行う取り組みに対し、1団体あたり事業費の1/2以内、50万円を上限として補助を行います。

(担当 まち未来課)

・防犯灯LED化補助

(予算額100万円)

現在、地域で管理いただいている防犯灯の電気代などの維持管理費を削減するとともに、メンテナンスサイクルを伸ばすことで作業負担を軽減することを目的として、防犯灯のLED化を推進します。既存の蛍光灯によるものからLED防犯灯に交換する際に、1基

あたり1万円(新設の場合3万2千円)を上限として補助します。

(担当 総務課)

・自主防災組織補助

(予算額100万円)

東日本大震災以降、住民の防災意識が高まる中、住民が主体となって組織的に防災活動を行う自主防災組織の必要性がますます高まっています。各地域で自主防災組織を立ち上げていただく際に、初期費用について5万円以内(1万5千円に1世帯あたり200円を加えた額)、資機材の整備について10万円(対象経費の1/2以内)、運営費について3万円(対象経費の1/2以内)を上限とした補助を行います。

(担当 総務課)



重点施策

2 移住・定住促進

■直接住民に対する補助事業

業

・リフォーム補助

(住環境整備補助金

予算額 1000万円)

【詳細は6ページ】

定住促進の観点から、既存住宅における居住環境の向上を目指すとともに、地域内経済の活性化にも資するため、町内施工業者によって行われる住宅リフォームに対し、その対象経費の1/2以内、20万円を上限として補助を行います。

(担当 企画財政課)

・住宅の購入補助

(定住促進補助金

予算額 1080万円)

【詳細は7ページ】

町外からの移住定住者の増加と、定住促進及び活力ある地域づくりを推進するため、町内における住宅取得に対し、新築

の場合は200万円、中古購入の場合は80万円を上限(ともに対象経費の1/2を上限とする)として補助を行います。

(担当 企画財政課)

■その他定住促進事業

・紫雲団地跡地の売却

取り壊しを行った紫雲

団地の跡地の一部を宅地として売却することを予定しています。

売却時期については決

まり次第広報でお知らせ

します。

(担当 総務課)

重点施策

3 高野山開創一二〇

〇年及び和歌山国体

体にもむけた環境整備

■事業所等に対する補助事業

・WiFiフリースポット

設置補助

(予算額200万円)

普及が著しいスマート

フォンなどのモバイル端

末による通信環境を整え、宿泊客の8人に1人を占める外国人観光客に対する「おもてなし」の充実を図るため、WiFiフリースポットを整備する事業者に対し、1箇所あたり35万円を上限予定として補助を行います。

(担当 まち未来課)

■インフラ等空間整備

・電線類の地中化

(予算額2億1000万円)

町道五の室線(女人堂

から中心部の千手院まで)の電線類地中化を継続して行います。

今年度計画分で表通り

を中心とした電線類の地

中化事業は終了する予定です。

(担当 建設課)



・街路灯のLED化

(予算額2000万円)

高野山内の街路灯(表

通り131基)について

景観に配慮しながら住民

の方や観光客への安全性

を確保するため、環境に

配慮したLEDユニット

への交換を行います。明

るさの確保だけでなく、

電気代やメンテナンス経

費の削減などコスト面

でも大きな効果が見込ま

れます。

(担当 建設課)

・駐車場の整備

(予算額 3200万円)

高野山総合診療所に隣

接する高野山大学寮の跡

地を有効活用し、駐車場

として整備することで、

高野山内で慢性的に不足

している駐車スペースを

確保します。基本的には

通勤者対応ですが休日

には観光客も利用できる施

設として整備を予定して

います。

(担当 総務課)

■受入環境の仕組みづくり

・「歩いて楽しい」周遊型観光の創造

(予算額 640万円)

高野山環状道路の整備

などで人と車の流れが大

きく変化することが考え

られる中、「駐車場から街

中へ」人の流れを創造す

ることが街中活性化には

欠かせません。この大き

な課題に対し、街中散策

の導線となる仕掛けづく

りや街中案内所の充実な

どを行います。

(担当 まち未来課)

平成25年度当初予算決定

一般会計 **34億7,100万円**

特別会計(10) **19億9,170万円**

事業会計(1) **1億7,837万円**

合計 **56億4,107万円**

(前年度予算比 5,424万円の減額 △1.0%)

会計別予算額一覧表

単位:千円・%

区分	H25 予算額	H24 予算額	増減率	
一般会計	3,471,000	3,268,000	6.2	
特別会計	国民健康保険特別会計	624,000	621,000	0.5
	国保富貴診療所特別会計	68,500	75,000	-8.7
	後期高齢者医療特別会計	135,000	134,000	0.7
	介護保険特別会計	550,800	487,400	13.0
	富貴財産区特別会計	7,600	5,000	52.0
	下水道特別会計	252,800	261,900	-3.5
	農業集落排水事業特別会計	9,700	14,900	-34.9
	生活排水処理事業特別会計	20,900	22,900	-8.7
	簡易水道特別会計	37,400	28,500	31.2
	高野山総合診療所会計	285,000	438,500	-35.0
事業会計	178,373	338,213	-47.3	
合計	5,641,073	5,695,313	-1.0	

4月から1年間のお金の使い方をまとめた平成25年度当初予算が3月議会で承認されました。

特別会計等を含む高野町全体の予算規模は、全体で56億4107万円となり前年度予算より5424万円(△1.0%)の減額予算となりました。高野山総合診療所会計が院外処方の実施や人件費の削減などにより1億5350万円の減額、水道事業会計が公営企業債の借り換えにより増額となっていた1億6130万円が皆減となったことから1億5984万円減額となったことが主な要因です。一方、一般会計の予算規模は34億7100万円となり前年度予算より2億300万円(+6.2%)の増額となりました。「住民生活に直結する事業」「移住定住の促進」「高野山開創一〇〇年及び和歌山国体に向けた環境の整備」など、身近に効果を実感していただける施策に対

■予算全体の傾向と政策事業について

して重点的に予算配分を行っています。

政府の経済政策により景気回復の兆しが見え始めてきましたが、地域の現状では依然として長い不況の影響が残り、歯止めがかからない人口減少と併せて、引き続き町税の収入は減少することが予想されています。また政権交代により国の方針が大きく転換されたことで、国から地方へ分配されるお金(地方交付税や補助金等)にも少なからず影響があるものと思われませんが、財政調整基金など自主財源を有効活用しながら事業を推進していきます。

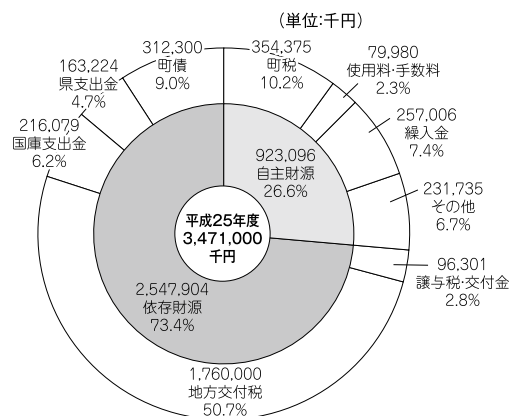
■一般会計の概要

歳入について

町に入ってくるお金には、町税をはじめ、国から交付される地方交付税・国庫支出金、また町債と呼ばれる借入金などがあります。町では収入のことを歳入と呼び、一般会計の歳入総額は34億7100万円となりました。

高野町の歳入で一番金額が多いものは国から分配される地方交付税の17億6000万円となり、次いで町税の3億5438万円となっています。

一般会計 歳入

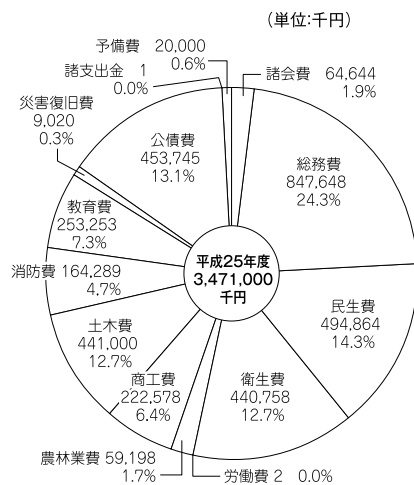


一般会計歳入内訳

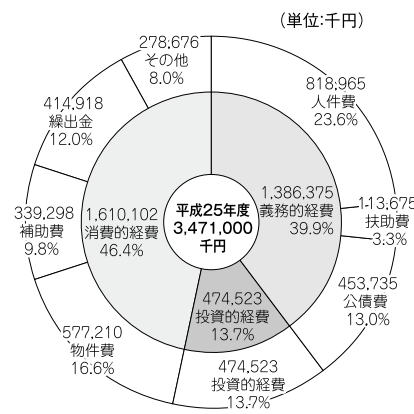
単位:千円

区分	H25 予算額	H24 予算額	用語解説
自主財源	923,096	797,887	町が自主的に収入することができるお金
町税	354,375	363,482	町民のみなさんに納めていただく税金
使用料・手数料	79,980	80,792	施設の使用料や戸籍の発行などの手数料
繰入金	257,006	122,900	基金などから繰り入れるお金
その他	231,735	230,713	財産の貸付収入など
依存財源	2,547,904	2,470,113	国や県などから割り当てられるお金
地方交付税	1,760,000	1,760,000	行政サービスを提供できるよう国が交付するお金
国庫支出金	216,079	165,991	特定の事業に対して交付される国からの補助金
県支出金	163,224	158,421	特定の事業に対して交付される県からの補助金
町債(借金)	312,300	276,300	町が資金調達のため借り入れるお金
譲与税等	96,301	109,401	国税の一部または全部を町に交付されるお金など
合計	3,471,000	3,268,000	

一般会計 目的別歳出



一般会計 性質別歳出



一般会計歳出性質別内訳

区分	H25 予算額	H24 予算額
義務的経費	1,386,375	1,394,725
人件費	818,965	811,530
扶助費	113,675	109,789
公債費	453,735	473,406
投資的経費	474,523	328,042
消費的経費	1,610,102	1,545,233
物件費	577,210	532,576
補助費	339,298	302,393
繰出金	414,918	440,530
その他	278,676	269,734
合計	3,471,000	3,268,000

歳出の主なもの

町では、支出のことを歳出と呼び、一般会計の歳出総額は、歳入と同じ34億7100万円となっています。

歳出の主なものとして

①議会費

議員年金廃止に伴う負担金 (1233万円)

②総務費

駐車場整備工事 (3200万円)
携帯電話等エリア整備工事 (2053万円)
地域公共交通の確保対策 (2180万円)

③民生費

社会福祉協議会への補助金 (1437万円)
障害者自立支援給付費 (4150万円)
国民健康保険会計繰出金 (4600万円)
介護保険会計繰出金 (8430万円)

④衛生費

広域ゴミ処理施設運営管理費とゴミの回収運搬委託料 (1億3664万円)
高野山総合診療所会計繰出金 (1億530万円)
下水道会計繰出金 (3150万円)

⑤土木費

林道台帳作成 (1000万円)
木の国森林づくり事業 (352万円)
中小企業振興資金 (しゃくなげ融資) 預託金 (1億円)
観光施設標識整備 (2100万円)

⑥教育費

町史編纂事業 (1966万円)

⑦災害復旧費

高野山小学校プール設備工事 (735万円)

⑧災害復旧費

林道の災害復旧工事費 (801万円) などがありません。

元学校施設整備工事 (884万円)

定住促進事業 (1080万円)

住環境整備事業 (1000万円)

鳥獣害対策事業 (1167万円)

へき地患者輸送車購入 (466万円)

③民生費

社会福祉協議会への補助金 (1437万円)
障害者自立支援給付費 (4150万円)
国民健康保険会計繰出金 (4600万円)
介護保険会計繰出金 (8430万円)

⑥商工費

中小企業振興資金 (しゃくなげ融資) 預託金 (1億円)
観光施設標識整備 (2100万円)
高野山旗学童軟式野球大会補助金 (2100万円)

⑨教育費

町史編纂事業 (1966万円)

④衛生費

広域ゴミ処理施設運営管理費とゴミの回収運搬委託料 (1億3664万円)
高野山総合診療所会計繰出金 (1億530万円)
下水道会計繰出金 (3150万円)

⑤土木費

林道台帳作成 (1000万円)
木の国森林づくり事業 (352万円)
中小企業振興資金 (しゃくなげ融資) 預託金 (1億円)
観光施設標識整備 (2100万円)

⑧消防費

消防本部地下タンク廃止工事 (174万円)
AED購入 (68万円)

⑨教育費

町史編纂事業 (1966万円)

⑦土木費

林道の災害復旧工事費 (801万円) などがありません。

⑧消防費

消防本部地下タンク廃止工事 (174万円)
AED購入 (68万円)

⑨教育費

町史編纂事業 (1966万円)

⑩災害復旧費

高野山小学校プール設備工事 (735万円)

◆一般会計の基金及び町債の推移

財政調整基金の推移

23年度末 決算額	910,798 千円
24年度末 決算見込額	1,069,538 千円
25年度末 決算見込額	970,710 千円

町債現在高の推移

23年度末	3,392,348 千円
24年度末見込	3,379,858 千円
25年度末見込	3,287,236 千円

財政調整基金は、重点施策などによる財源不足分を補う取り崩しにより、前年度比で9,883万円減少する見込みですが、財政規模に対する基金残高の割合を数値化した比率では県内自治体の平均値を超える水準で推移する見込みです。

町の借金である町債は新規借入れ額が3億1,230万円であるのに対し、年度中の元金の償還額が4億492万円となっており、期末残高では前年度比で9,262万円減少となる見込みです。

(問い合わせ先)企画財政課 ☎56-2932

■住環境整備(リフォーム)補助金がはじまりました！■

町民の皆様の居住環境の向上や定住促進を充実させるため、また、町内における経済活性化を目的として開始します。

【補助対象者】

- ◆高野町民であり現に住宅に入居している方
- ◆世帯員全員が町税、使用料等の債務を滞納していない方
- ◆新規移住者において、工事完了後、本町の住民となる方

【補助金額】

- ◆補助対象経費の1/2 最高補助金額 20万円（最低工事金額5万円以上）

【必須要件】

- ◆工事施工は町内に住所を有し、生活をしている事業所または個人事業主に限ります。

【受付】

- ◆平成25年4月1日から（来年度も継続予定）

【補助対象工事】

- ◆対象となるのは、「現在住んでいる住宅の建物本体の住居部分」に対して行う工事です。事業所、店舗等が併用している場合は住居としている部分に限ります。

【その他】

- ◆賃貸住宅、借家のリフォームは、入居人が高野町民であり、かつ賃借人に承諾を得たうえで入居人が申請する場合に限ります。（公営住宅は対象外）
- ◆1年単位で予算の範囲内で補助を行いますが、申し込み多数の場合は年度内途中で終了し、翌年度になることもあります。

補助金の1割は高野町共通商品券でお渡しします



《対象となる工事例》

- ・既存住宅の増築、一部改築工事
- ・屋根のふき替え、塗装、防水工事
- ・外壁の張替え、補修、塗装工事
- ・畳替え、建具・内装工事
- ・ベランダ、サンルームの改修、設置工事
- ・浴室、台所、トイレ等水まわりのリフォーム
- ・内装工事
- ・断熱改修工事 等

◆申請は工事着工前に必ず行ってください。申請は工事施工業者に依頼しても結構です。

《対象とならない工事例》

- ・建物の取り壊しのみ
- ・車庫、倉庫、物置、店舗、工場、事務所の改修
- ・門扉、ブロック塀、エントランス、植樹、剪定等の外構工事
- ・下水道、浄化槽等の設置・配管工事（住宅外）
- ・太陽光発電設備、太陽熱利用設備の設置工事
- ・防犯機器、防災機器、通信機器等の設置工事
- ・電化製品(エアコン、暖房器具、テレビ、照明器具)等の購入 等

住環境整備補助金 Q & A	
Q1. 申請者とは住宅の所有者ですか。	申請は実際入居している人であればどなたでも構いません。但し同一住宅に対し、1回限りです。
Q2. 介護保険で手すりなど設置工事を行ったが、同時に申請可能ですか。	同一箇所の工事で介護保険の自己負担分を補助にあてるのは対象外です。その他の部分のリフォーム工事は可能です。
Q3. 電化製品は補助対象ですか。	対象となりません。（エアコン、冷蔵庫、テレビ等）但し、水回りの改修工事（キッチン、トイレ、バス）は製品代金も含めますが、いずれも工事を伴う場合です。
Q4. 大工が自宅を改修した場合は。	改修工事に係る材料費のみを対象とします。他の業者に依頼した場合は手間賃も含まれます。
Q5. 「高野町内の業者」の考え方は。	高野町に住民票を有する事業所、または個人事業主で見積書を作成することが出来れば可能です。

■移住定住促進補助制度がはじまりました！■

定住人口の増加及び活力ある地域づくりを推進するため住宅の取得に対し補助金を交付します。

【補助対象者】

- ◆高野町民の方または高野町民となる方
- ◆世帯員全員が町税、使用料等の債務を滞納していない方

【補助金の種類・補助額】

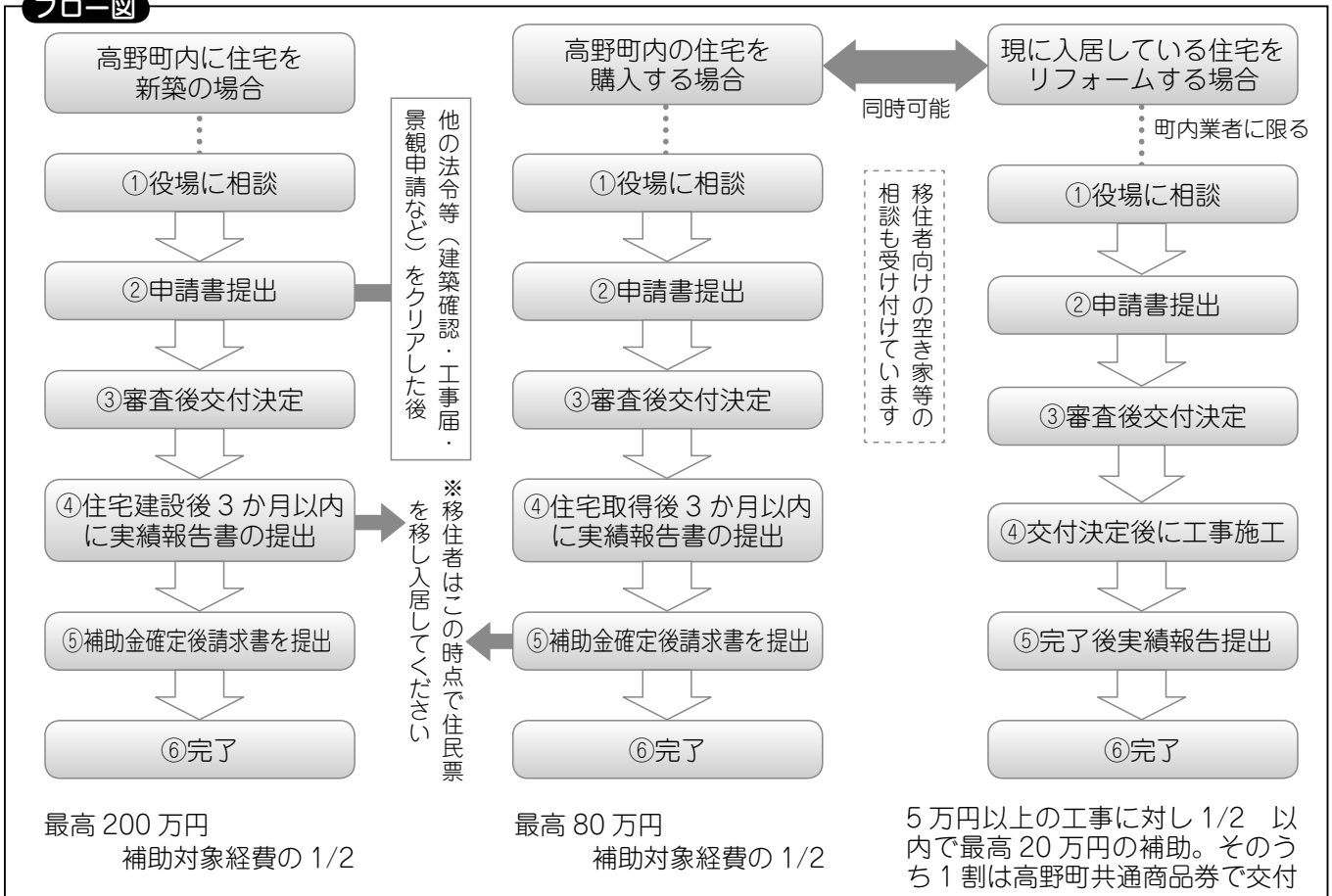
1. 住宅の建設に対する補助金……………補助対象経費の 1/2 最高補助金額 200 万円
 ※新築の場合申請時に建築確認申請の写しまたは工事届の写しが必要です。
2. 中古住宅の購入に対する補助金……………補助対象経費の 1/2 最高補助金額 80 万円

【受 付】

- ◆平成 25 年 4 月 1 日から（来年度も継続予定）

移住定住促進（住宅取得）補助金 Q & A	
Q1、法人や団体の申請は対象ですか。	対象としません。
Q2、事業所が従業員用社宅の為に中古住宅を購入する場合も対象ですか。	対象としません。
Q3、新築の場合町外業者でもいいですか。	対象とします。リフォームは町内業者とします。
Q4、別荘を建築・購入は対象ですか。	対象としません。移住定住することが条件です。
Q5、中古住宅の親族間の売買は対象ですか。	3親等内の売買は対象としません。

フロー図





1/28 一面の銀世界 高野山小学校雪上運動会が 開催されました！



恒例の高野山小学校雪上運動会が、高野山小学校運動場で行われました。1月の雪が積もった日に、全校児童が参加し、そりリレーや綱引き、雪上リレーなどが行われました。中には転んでしまう子もいましたが、元気な姿を見せてくれました。

2/13 高森町自治会長が 来町されました



災害時に相互応援協定を締結している長野県高森町の自治会長 19 名が、相互の理解を深め交流を推進するため来町されました。当日は、双方の防災組織や避難訓練等自治会組織による防災取り組み状況を中心に意見交換が行われました。

2/17 最後までつないだタスキ 〜ジュニア駅伝〜



今年で 12 回目を迎える『和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会』が和歌山市で開催されました。

練習は、積雪により、下山しての練習や室内練習を余儀なくされました。そんな中、限られた人数、限られた時間で一生懸命、チーム一丸となりみんなで行いました。小学 5 年生から中学 3 年生までの 10 名 10 区間で競われ、昨年の高野町チームの記録を 1 秒でも縮め、順位も一つでもあげようと選手一人ひとりが必死でタスキをつなぎました。順位は昨年を上回ることができ、タイムも縮めることができました。走った選手も控えの選手も心をひとつにし、みんなで頑張りました。

1/9 高野町消防出初式



新春恒例の高野町消防出初式が関係者多数参加の下、高野町中央公民館で行われました。出初式は消防職・団員の士気を高め、町消防の全容を広く町民の皆様へ公開し、消防に対する認識と信頼を高めることを目的に開かれています。式典終了後には、金剛峯寺前駐車場において、消防職・団員による分列行進等が行われました。

1/13 責任と決意を胸に 〜高野町成人式〜



今年も実行委員とサポーターとが主体となり、手作りの『成人式』が高野町中央公民館で行われました。会場では、華やかな着物姿やスーツ姿の新成人が久々に会う友人との再会と二十歳の門出をともに喜び合いました。

今年度新成人となるのは 31 名、その内成人式に参加したのは 14 名。新成人たちは、責任と決意を胸に、大人への第一歩を踏み出しました。

3月

町内各小中学校で卒業式



高野町内の各学校で卒業式が行われ、卒業生達はそれぞれ沢山の思い出を胸に、慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

《卒業生数》

- 8日 高野山中学校 18名
- 富貴中学校 3名
- 18日 富貴小学校 1名
- 19日 高野山小学校 11名
- 花坂小学校 1名

卒業生の皆さまおめでとうございます。皆さまの未来に幸多きことを心からお祈りいたします。

3 / 23・24

ブックトレード



読み終わった本や、要らなくなったおもちゃを持ちよって、他の本などと交換して持ち帰るイベント「ブックトレード」が保健福祉センターで行われました。他にもボランティアの方にお手玉の作り方・遊び方を教わったりして、世代間の交流も生まれました。今後、毎月第四土日に開催する予定です。

3 / 1~7

春季火災予防運動



3月1日から1週間にわたり春の全国火災予防運動が行われました。高野町では火災予防のチラシ配布や高野山こども園園児による旗パレードの他、「こうやくん」1日消防署長など多くの防火啓発行事が行われました。

3 / 3

お山に春を呼ぶ 高野の火まつり



高野山に春を呼ぶ恒例の『高野の火まつり』が、金剛峯寺前駐車場で行われました。

当日は晴天に恵まれ、沢山の方々がお参りされ、高野山の霊場開きと招福厄除を祈願する柴燈大護摩供（さいとうおおごまく）等が行われました。

3 / 9

サンわく学 アーチェリー教室



昨年のロンドンオリンピックで一躍脚光を浴びたアーチェリー！！小学校4・5・6年生と中学生を対象に「アーチェリー教室」を行いました。弓具の説明や基本動作を教えていただき、的に向かって矢を放ちました。はじめはなかなか的にうまく当てられませんが先生方がやさしく・熱心に教えて下さり、最後にはみんなが高得点のエリアに当てるようになりました。

第68回国民体育大会
冬季大会

「あきた鹿角国体2013」出場報告

高野山スキークラブ所属、目黒照典さん、西山曜己さんの2名がスキー競技の部（ジャイアントスラローム）和歌山県代表選手として2年連続の出場を果たしました。

今年も昨年に続き、和歌山県代表として第68回国民体育大会冬季スキー競技会に参加しました。昨年のぎふ清流国体では明確な目標を持って挑む事が出来なかつただけに、今回の大会では個人的な目標として「前回よりもトップとの差を縮めること、同時に和歌山県代表の中で1番の成績を収めること」を目標に参加しました。昨年は東日本大震災の復興支援大会でしたが、今年は東日本大震災の被災地での開催ということで、宿泊先の宿で水が出ないなどの震災の被害がまだ残っている中での大会でした。

震災から2年経った今でも完全な復旧が無いという現実を肌で感じる事が出来たことや、そんな中受け入れをしてくれたことに感謝するなど、貴重な経験が出来た大会でした。

このような事をふまえ、スキーが出来る事のありがたさを改めて感じ、何が何でも記録を残すこと。そして成績というものにこだわって大会に挑むことが出来ました。結果はトップと9秒差の74位と決して満足のいくものではありませんでしたが、和歌山県代表として、高野町代表として、昨年に続き結果を残せました。また、個人的な目標の和歌山県代表の中で一番良い成績という目標を達成出来た事など、こだわっていた成績というものでしっかりと結果を残すことが出来て良かったです。そして、来年は今年よりも成績を上げ、50位をひとつの目標に、トレーニングに励みたいと思います。

応援有難うございました。 成年男子A 和歌山県代表 目黒照典



和歌山選手団

和歌山県発達障害者
支援センター 「ポラリス」巡回相談

〈発達障害とは、脳の機能障害が原因といわれ、自閉症スペクトラム障害（自閉症・アスペルガー症候群等）、注意欠如多動性症候群、学習障害があります。コミュニケーションがとりづらい、対人関係をうまく築けない、落ち着きがない、読み書きが苦手などは、本人の努力のなさや親の育て方が原因ではありません。特性を正しく理解し、個々にあった関わりを持つことで様々な力を身に付けることが可能です。〉

和歌山県発達障害者支援センター「ポラリス」では、発達障害の理解・子育て・問題行動など、発達障害に関する様々な相談に応じており、今年度も橋本市・伊都地域の方を対象に巡回相談を行います。

対象：発達障害者ご本人やご家族、支援者等

場所：橋本保健所

日時：毎月第3木曜日

(2013年 4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、8月22日、9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、2014年1月16日、2月20日、3月20日)

※相談時間については、午前11時～午後4時までの間で1件1時間です
申込み・問合せ先：〒641-0044 和歌山市今福3-5-41

和歌山県発達障害者支援センター「ポラリス」

☎ 073-413-3200

高野町奨学生を募集します

高野町では、平成25年度の奨学生を募集します。希望者は、願書等の関係書類を添えて期間内にお申し込みください。(関係書類は、高野町教育委員会に用意しています。)

- 1 対象……………平成25年度高校・短大・国の認可を受けた専門学校・大学・大学院合格者で高野町立小中学校を卒業した方
- 2 採用人員……………2～3名程度(予定)
- 3 資格……………学力資質が極めて優秀であり、学資の支弁が困難と認められる者(高野町奨学金貸与規則第二条)
- 4 奨学金……………高校 月額 1万円
短大・専門学校 月額 2万円
大学・大学院 月額 2万5千円(一年間単位で貸与可)
- 5 入学準備金……………高校生 5万円
短大・専門学校生 10万円
大学・大学院生 10万円
- 6 返済有無……………有り
- 7 返済期間……………卒業後一年経過した翌日より6ヶ月の期限内
- 8 申込期間……………平成25年6月28日(金)まで
- 9 問い合わせ先……………高野町教育委員会
☎ 0736-56-3050

編集・発行
高野町企画財政課

〒648-0281

和歌山県伊都郡高野町

大字高野山636番地

☎ 0736(56)3000

http://www.town.koya.wakayama.jp/
e-mail: kikaku@town.koya.wakayama.jp

町民のふし

	人	□
12月末	3,602人(男1,767人、女1,835人)	
1月末	3,593人(男1,768人、女1,825人)	
2月末	3,573人(男1,754人、女1,819人)	

	世帯	死亡	出生
12月末	1,830世帯	8人	2人
1月末	1,824世帯	7人	2人
2月末	1,818世帯	5人	2人

(住民基本台帳による)